

## 地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

## 【地震発生時刻】 2018年1月6日 0時54分頃 【震源地】東京湾 【マグニチュード】 4.7 (深さ71km)

観測地点 東京都多摩市

設置建物

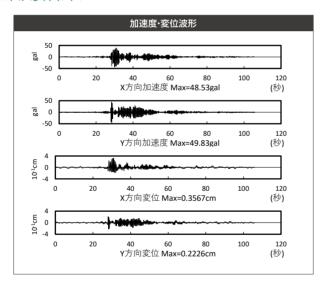
コンクリート造(RC/SRC) 8階 / 11階建

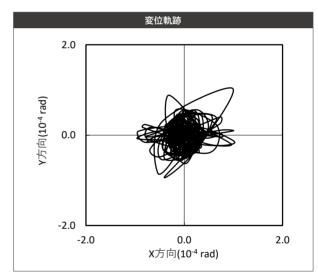
建物健全性評価: 健全 震度: 4 計測震

観測値から推定される固有周期はX方向0.5秒、Y方向0.4秒です。同規模の建物と比較して短く、層間変形角も小さいことから健全と判定されます。

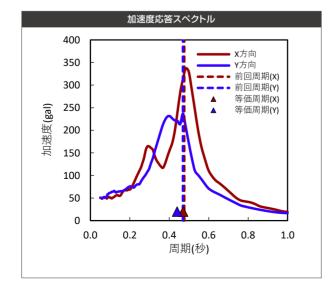
※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、 一切責任を負いません。

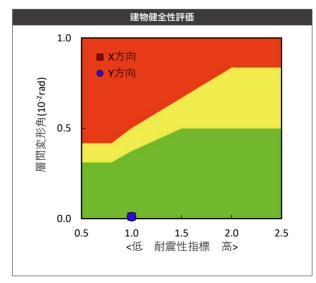
1 計測結果 計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。





2解析結果 解析結果から建物の健全性がわかります。





30年地震ハザード

今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率 33.0% 【ランク:E 高め】

表層地盤増幅率

地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ

## 1.18 【ランク:B やや低め】



Japan Seismic Hazard Information Station

## 地震ハザードカルテ 2017年版



□総合評価	
表層地盤 地盤增幅率(Vs=400m/s~1	
Vs=1,100m/s上面深さ 深部地盤	A 再現期間1000年の震度 長期間平均
Vs=2,700m/s上面深さ	//#- K
	ДП

◯ 30年、50年地震ハザード			
超過確率の値[%]		震度5弱	98.7
A.W.o.o.c. III I. a.	30年	震度5強	80.4
今後30年間にある震度以上の 揺れに見舞われる確率の値	304	震度6弱	33.0
です。		震度6強	4.4
	30年	3%	6強
震度の値	304	6%	6弱
<b> </b>		2%	6強
今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる震度の値です。	50年	5%	6強
	304	10%	6弱
		39%	6弱
地表の最大速度の値[cm/s] 今後30年または50年間にある値 以上の確率で見舞われる地表の 最大速度の値です。	30年	3%	91.3
		6%	77.3
	50年	2%	109.9
		5%	90.6
		10%	76.0
		39%	47.1

□表層地盤 地盤増幅率(Vs=400m/s~地表)	1.18
微地形区分	丘陵
30m平均S波速度	328m/s
ゆれやすさ 上位19% 上位19%	·

□ ハザードカーブと影響地震	カテゴリー		
10-1	—————————————————————————————————————	ての地震 構型巨大地 構型震源 <b>不</b> 或浅発地震	特定地震
茶类原因 10°2	30年	3%	77.0
8	[cm/s]	6%	65.2
10-3		2%	92.7
10-1	50年	5%	76.4
	[cm/s]	10%	64.1
10-4		39%	39.8
0 50 100 150 工学的基盤上の最大速度[cm/s]			
No. 地震名			震度6弱以上 の影響度[%]
1 ーーー 南海トラフの地震			40.6
2 フィリピン海プレー ト内の震源を予め			40.4

s=2,700m/s上面の	Ā	2,0221
0 500 1 400 800 1 1200 [600 402000] \$\frac{\psi_2000}{\psi_2000}\$ 3200 3200 3600 4000	S波速度(m/s) 1500 2000 2500	3000 3500

□ 長期間平均ハザード		
	500年相当	6強
震度の値 長期間の再現期間に対応する 震度の値です。	1000年相当	6強
	5000年相当	6強
	1万年相当	6強
	5万年相当	7
	10万年相当	7

Copyright© 2012-2017 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte

12.7